

植樹式 2019



時の蘇生・柿の木プロジェクト

目次

2020年更新

3月16日		公立公園（ナーヴェ市） イタリア・ブレシア県・ナーヴェ市	1
3月22日		G・マルコーニ総合学校 イタリア・モデナ県・モデナ市	2
3月23日		ヴェスコヴァート幼稚園 イタリア・クレモナ県・ヴェスコヴァート市	3
3月28日		M. L. キング小学校 イタリア・トリノ県・グルリアスコ市	4
3月30日		パッシラーノ総合学校 イタリア・ブレシア県・パッシラーノ市	5
4月2日		パオリーナ・セコ・スアルド人文音楽高校 イタリア・ベルガモ県・ベルガモ市	6
4月6日		アレクサンダー・ランガー公園 イタリア・ミラノ県・リスカート市	7
4月22日		ペヨ・ヤフォロフ語学学校 ブルガリア・シリストラ	8
4月27日		A. ブシオラノ総合学校 イタリア・ポテンツァ県・ポテンツァ市	9
4月29日		オルメア植物園 イタリア・クーネオ県・オルメア市	10
5月8日		カラマタ 3ο ジムナシオ中学校 ギリシャ・カラマタ	11
10月		イル サルヴィアティーノホテル イタリア・フィレンツェ県・フィゾーレ市	12

公立公園（ナーヴェ市）

 イタリア

 ブレシア県・ナーヴェ市

 2019年3月16日

植樹式に先駆けて、ザナルデッリ邸にて“G. ロダーリ”幼稚園の生徒たちによる作品の展覧会の開会式が行われました。展覧会のタイトルは「再生」、ナーヴェ市の小学校3年生により監修され、3月16日、17日、23日、24日の週末の4日間開催されました。

引き続き、行われた植樹式は、“G. ロダーリ”幼稚園、ナーベ市小学校4年生、“G. ガリレイ”中学校によって監修されました。植樹式には、ナーヴェ市一貫校の先生全員と全校生徒子どもたちの他にも、ザナルデッリ邸の関係者（G.A.V）、キリスト教労働者運動（MCL）のメンバー、ナーベ市図書館の職員、聖チェチリア音楽隊の隊員、ラ・ベーラ協同組合とフトゥーラ協同組合の人々、学校理事会のメンバー、レッザート成長期世代絵画館の関係者をはじめ、プロジェクト実現を助け、今後も参加を続けてくれる、さまざまな団体のボランティアの皆さんが参加してくれました。

植樹式では、ロダーリ幼稚園の5歳の子どもたちが考えたわらべ歌「長崎の柿」が披露されました。柿の木の植樹後には平和の行進も行われました。



G・マルコーニ総合学校



イタリア



モデナ県・モデナ市



2019年3月22日

モデナはボローニャの近くにある州です。3月22日のモデナ10総合学校のG/マルコーニ学校の植樹式には、生徒、先生の他にも保護者も招待され、約150人が参加しました。

市長からはお祝いの言葉があり、校長先生により、海老沼先生からのメッセージが読み上げられました。

植樹に先駆け、生徒たちの投票によって、柿の木の名前は「希望」と決定、参加者に紹介されました。

校庭で植樹は行われ、柿の木のまわりでは生徒たちによるお祝いの演奏がありました。植樹後の世話は学校でしっかりと行われます。

ヴェスコヴァート幼稚園

 イタリア

 クレモナ県・ヴェスコヴァート市

 2019年3月23日

2016/2017年にヴェスコヴァート幼稚園内に果樹園がオープンしました。この果樹園では、地元の団体による参加を前提としており、この取り組みは、イタリアの中のさまざまな機関から注目をされています。

幼稚園では、2018/2019年の教育企画に柿の木を植樹し、平和と復興をテーマとしたプロジェクトを進めていくことを決めました。植樹式は2019年3月23日に開催され、近隣からも多くの人々が参加しました。

M. L. キング小学校

🇮🇹 イタリア

📍 トリノ県・グルリアスコ市

🌱 2019年3月28日

M.L. キング小学校では、職地涌の申し込みが正式に承認されてから、すぐに先生方は子どもたちのために数か月間にわたって、苗木歓迎のためのさまざまな教育活動を準備してきました。プロジェクトには、グルリアスコ自治体当局、市長のロベルト・モンタ氏、教育評議員のグアリーノ博士、グリーンノ教授（アグロイノヴァセンター所長）を介して農業大学、ベルテッティ博士（農学者）、マシーノ博士、コッレーニョ・ピース・ファクトリーの平和大使ふくもとかずえ夫人の協力もありました。

植樹に先駆けて、1月21日から25日の週に、キ全学年の児童による投票で柿の木の名前を「平和」に決めました。



2月13日にようやく「被爆柿の木2世」が小学校に到着した時、子どもたちや先生方は、大喝采でむかえら

れました。

植樹式までの間、小学校では柿の木の歴史を学び、その木が持つ価値や意義がさらに多くの人を巻き込んでいきました。3月28日の植樹式にむけて、1年生と2年生は平和についてのポスター制作、3年生は柿の苗木をいろいろな技法で制作、子どもたちの宣言が描かれた壁面制作も行いました。4年生は長崎の柿の歴史の演劇化と地球保護のための手紙を書き、それは式典中に読み上げられ、市長に手渡されました。子どもたちの作品はすべて「平和、時の再生」展で展示され、子どもたちの家族にも鑑賞してもらいました。

3月28日の植樹式当日は、子どもたちが平和の色を身につけ、校庭の植樹場所に集まりました。来賓の挨拶のあと、子どもたちは苗木へ瞑想を行い平和の木を歓迎し、歌を歌い、詩の朗読を行い、4年生による長崎の柿の歴史の演劇を鑑賞しました。そして「平和」の植樹を行いました。

パッシラーノ総合学校

 イタリア

 ブレシア県・パッシラーノ市

 2019年3月30日



パッシラーノ総合学校では、植樹式に先駆けて、事前学習を行い、クラスごとにメッセージや絵を制作しました。総植樹式当日は、総合学校の全員が植樹式に参加しました。グランドのフェンスには、大きな日本とイタリアの旗や、事前に制作した大きな絵が飾られています。子どもたちのフルート演奏の後、アランチェスコ氏、市長、日本領事館の方のスピーチが行われました。その後、大きなPaceの旗を持ち、みんなで行進して、グランドへ向かいます。

子どもたちは、首から自分の描いた絵をぶら下げて、柿の木のまわりに集まりました。歌や詩の朗読を行い、大切に柿の木が植樹されました。その後、オリジナルTシャツの贈呈式が行われ、来賓の方が一人ずつ名前をよばれて、Tシャツを受け取りました。



パオリーナ・セコ・ スアルド人文音楽高校

 イタリア

 ベルガモ県・ベルガモ市

 2019年4月2日

日本とイタリアの文化交流を目的とする団体「日本の心」を中心に、のパオリーナ・セコ・スアルド人文音楽高校での植樹が企画されました。

3月18日、植樹に先駆け、学級委員長など生徒の代表100人に対して、マストロロッコ校長先生とベルガモ市議会会長マルシアマルケージ氏が出席のもと、講演会が開催されました。講演会では、広島と長崎の原爆のこと、柿の木プロジェクトが目指す平和活動についての話がありました。

4月2日、高校の玄関前で植樹式は開催されました。生徒たちの吹奏楽の演奏が行われ、柿の木が植樹されました。



アレクサンダー・ランガー公園

 イタリア

 ミラノ県・リスカート市

 2019年4月6日



植樹に先駆けて、リスカート市の2つの学校では、多くの事前学習を行いました。紙芝居をみたり、小さな子どもたち(2歳から6歳)と一緒に、小さな色とりどりの旗を作りました。旗には子どもたちの絵が描かれ、それらを飾った様子は何度もFacebookで発信しました。

4月6日の植樹式は、市内の新しい公園で行われました。この公園の名前は、イタリアの平和主義者 Alexander Langer にちなんで名付けられました。

植樹式の会場となった公園には、事前に制作した子どもたちの旗が飾られています。市長や保護者の代表が、柿の木を植樹しました。日本とイタリアの友好についての話もあり、植樹式は地元の新報でも紹介されました。



ペヨ・ヤフォロフ語学学校

 ブルガリア

 シリストラ

 2019年4月22日

ペヨ・ヤフォロフ語学学校は、「エラスムス計画」に参加しており、EUの6つの学校と一緒にプロジェクトを行っています。エラスムス計画の目的は、①ヨーロッパ全域で、学生と教員の交流について、質を改善し、人数も増大させる。②ヨーロッパの高等教育機関の間における多国間協力について、質の向上と、件数の増大を目指す。③高等教育機関と企業間の協力関係を改善し、増大させる。④ヨーロッパの大学間で革新を広め、新しい教育の方式や支援も拡大するものです。今回の植樹は、このエラスムス計画の他の学校と共に申込をしてきました。



4月22日の植樹式に先駆けて、生徒たちは、たくさんの写真や資料、DVDで事前に柿の木プロジェクトのことを学びました。プロジェクトが始まった理由、原爆のこと、その国のこと、さらには柿のレシピについてもみんなに紹介しました。

柿の木プロジェクトを通して、他の学校との交流も行われ、交流に参加した生徒は、各クラスでそのことについて、報告発表しました。植樹は、外国語学校の教師と生徒たちで4月22日に行われました。さらに、ポスターの制作、柿の木のオブジェを制作し、それらの展示は、5月16日の国際平和の日にあわせて行いました。



A. フシオラ/総合学校

 イタリア

 ポテンツァ県・ポテンツァ市

 2019年4月27日

植樹式は4月27日に、ポテンツァ市のティーチングガーデンで行われました。

4つの学校から小学校の5クラスと、中学校の3クラスが参加して、柿の木は植樹されました。

植樹式では、壁画の発表がおこなわれました。スクールマネージャーの Lucia Girolamo はプレスリリースの中で、このコラボレーションに対して Franca Volonnino 教授と Maria Antonietta 教授に謝辞をのべ、Vincenza Molinari はこの柿の木があらゆる困難を克服することを手だすけする生命力を与えてくれるというメッセージを伝えてくれました。



オルメア植物園



イタリア



クーネオ県・オルメア市



2019年4月29日



4月29日の植樹式は、文化協会ウルメタとオルメア市により主催され、市議会、文化協会ウルメタ、ボランティア協会ホワイトクロス、アルパイン隊全国協会、地元消防協会の代表が参加し、子どもたちは、オルメアの保育園、オルメア市内の小中学校、オルメア林業学校、近隣のGaressioの学校を代表する生徒のグループが参加しました。

植樹式では、オルメア市長による記念講演がおこなわれ、参

加している組織や団体による開会の辞がありました。地球上のあらゆる国を代表する国旗を掲げた小学校の生徒たちがFriendshipについての歌を歌い、木の周りに自分の名前のついた石を置きました。中学生は俳句風にした詩を読み、林業学校の生徒たちはPierangelo Bertoliの「まだ風が吹いています」の歌を歌いました。参加者全員で昼食をとり、記柿の木の植樹の記憶としてすべての参加者に記念ブローチが配布されました。



カラマタ 30 ジムナシオ中学校

🇬🇷 ギリシャ

📍 カラマタ

🌱 2019年5月8日

カラマタ 30 ジムナシオ中学校は、5つのEUの学校と共に「人類はみな兄弟であるとの思想のもと、平和をつくる」、エラスムス計画（1987年設立、EUにおける学生の流動化の促進を目指す活動）に参加しています。この活動の目指すものは、生徒たちに平和の価値に気付いてもらうということです。友情、対話、相互信頼、協力、団結、そして民主主義のコンセプトが平和の価値に直結していることを理解し、そのための行動をしています。過去の経験から、戦争というものがいかに人間にも環境にとっても有害で、破壊的であるかを理解することも必要なことだと考えています。長崎で爆撃を生き延びた柿の木が、私たち人類にとって生きる希望を与え、柿の木を学校の校庭に植えることが、生徒たちの心の中に平和の種を植えることになるでしょう。このような理由により、植樹を申し込んでくれました。

5月8日の植樹式には、美術や音楽の先生たちと共同でワークショップを企画しました。平和のシンボルの形と蓮の花を粘土でつくったり、「命のカー平和の種」をテーマに紙、または壁へペイントをするワークショップを開催しました。今後10年の間に、人々はどう共存していくか、ということについて想像し短いレポートを書き、レポートは木の近くにプラスチックのボトルに入れられ埋められることになります。



イル・サルヴィアティーノ ホテル

 イタリア

 フィレンツェ県・フィゾーレ市

 2019年10月

ホテル「イル・サルヴィアティーノ」のコンセプトは、人と自然との適正な関係を追求することです。ホテルには7ヘクタールの庭に加え、日当たりの良い農業区画があり、そこで農作物の栽培を始めています。農地には自然との調和という意義があり、人間的な活動やワークショップを開催する場にもなっています。ホテルにとって柿の木は、平和と持続性という普遍的な価値の象徴となります。そして、その価値とは、成熟した意識を持つための基礎となるものです。

ホテルでは、子どもたちのための空間と瞬間を提供すること、平和の理念を伝えることを行い、その木が具思い出に残る体験をすることによって旅を豊かにすると確信しています。私たちは、世界各地の子どもたちに、木に具現化されたような具体的な体験を提供しようと思っています。フィエーゾレとフィレンツェの学校をホテルに招待し、柿の木を紹介するつもりです。植樹式には、フィエーゾレの学校の子どもたちを招待します。植樹後は、フィエーゾレの子どもたちに平和や柿の木をテーマにした物語を伝える会に毎年参加してもらう予定です。